地域の声　鮪立を知る

区長の実像

協力的で素敵な女性

鮪立の素敵な女性の一人と慕われている京子さんは鮪立で生まれ、鮪立の好い男性と結婚した。「多くの苦労があったけど乗り越え明るく生きてきたのよ」と微笑む気丈でお洒落な女性です。

大震災の時、家は壊れませんでしたが多くの場面で多くの人の力に助けられて生きて来ました。今後も多くの人と協力し鮪立復興をしていきたいと語っている。

昨年まで中学校の給食の仕事を13年手伝ってたそうで多くの先生とお知り合いなのだそうだ。「百年会と教育関係者の橋渡し役をお手伝いします」申し出ていただきました。鮪立女子会の主要メンバーとなっていただき、多くの復興のための仕事をしていくことになりました。

1区長　菅野京子さん

2区長　鈴木栄男さん

研究熱心お仕事熱心

「大島男に鮪立女」と語られるナイスな栄男（さかお）さんご夫妻は鮪立湾に面する最も高い家に暮らしています。地の利を活かし１９９７年より15年間ほど風力と太陽光発電を備えた節電生活をしていたそうです。「東北電力に売電！夏場は数千円稼いでいます」とはにかんでいました。３１１大災害時は地域の人々に携帯用充電とし提供し、たいへん喜ばれたたそうです。

鈴木栄男さんは省エネ最先端人生を歩んでおりました。

ご夫妻ともに写真に納められるのが大嫌いなのだそうですが「宿藤鮪報」に登場していただきました。パソコンも人差し指1本で猛勉強中です。

世話好きで人のよい自治会長

漁協に永年勤められていたそうで、漁業権などについて大変詳しく百年会は漁協とも行政の人々とも協力し共にまちづくりをしていく方針なので大助かりです。

噂では「へそ曲がり・性格がねじれている」と言う人が多いのですが、実は真逆で大変人柄がよく、事務手続きなど達者で、行政や地域との協力関係など多くの相談に乗っていただき、適切な指示をいただいております。

「4年前、脳梗塞で入院して以来ろれつが回らないんだよ」と流ちょうに話されていますが、横浜に暮らす看護婦の娘さんが初孫を連れて里帰り中だそうで、えびす顔が絶えることがありませんでした。

百年会の活動拠点である憩の家そばにお住まいで強い協力体制ができあがってしまいました。

この時空　神があたえた　白い地図

3区長　鈴木好典さん

4区長　鈴木章夫さん

鮪立ぶらぶら革命中

家から早馬山めがけ毎日散歩をしていたそうですが、大震災後は、復興仕事の多くの目が気になり人引きこもりガチだったそうです。百年会が突然目の前に現れ「藤浜復興計画要望案」押しつけられ藤浜地区を歩き回るはめになったのです。が、ぶらぶら好きの章夫さんは藤浜を巡り歩く「口実ができたなや～」と喜んで百年会の手伝いを積極的にこなしていただいております。ほぼまとめてしまわれました。

「父はとても義理堅いですよ」と医療現場で働き大忙しの娘さんが話しておりました。

高校弓道部のお孫さんの通学のアッシー君役もこなし、家でも大活躍です。無口ですが大好きなお酒が一滴はいるとなめらかに話し出し藤浜の美しい夕日を眺めつ新藤浜をめざし「ぶらぶら革命家」に毎夜変身しておりました。

生活道路の傍にぶらぶら像建てたいないや～

工作好き　働き者　家庭菜園好き

鮪立で生まれ中卒後マグロ船にのり環太平洋をマグロをとりまわった漁師さんです。神奈川県三浦半島の突端の三崎を拠点にしペルー沖まで行くのに1月掛かるのでビール２４本入り３０ケース、ウィスキー１２本入り5ケースを買い込み、船に乗っていたそうで。1ヶ月で全部呑んでしまう大の酒好きです。船から下りた現在も毎日呑むそうですが年齢を考え近頃は休肝日をもうけ「週一回酒は休む」と決め実行しているそうです。

ペルーまでの往復の間船内のありとあらゆる材料を使い模型作りをしていたそうで、大の工作好きです。「この物干し場もおれが作った」と笑っておりました。震災で家が傾いたりしたそうですが、近所の崩れた擁壁工事の作業を手伝っておりました。「近所にゴミをすてたり、ピンポンダッシュ」などいたずらに困っているそうです。

5区長　鈴木金一さん

「宿藤鮪報」作成費用は次の方々に提供していただきました。

桑田仁・渡邊諒
萩原豪・中島のおとうさん
船越玲成・大谷唯子
高橋真有・石橋理志
川又千佳・荒井隆太郎
鈴木京子・鈴木宏子
上沢の御夫婦
三井商店のご夫婦
メルボルン工科大学の先生
東日本大震災復興コミュニティアーキテクト

皆様に

鮪立の今をお届けしました。

編集後記

憩の家で4日間編集作業してる間に、皆さんに声かけて頂いて嬉しかったです！　千葉大生

多少なりとも情報共有のお役に立てれば幸いです。また来ます♥　本馬奈緒

皆さんに読んでもらうために、（蚊と格闘しながら）一生懸命作成しました。短い期間でしたが、自分にとって貴重な時間となりました。　工藤茂樹

少しでしたが、新聞づくりに携わったことで、鮪立に住む人に喜んで頂ければ幸いです。　近藤将輝（近畿大学脇田祥尚研究室）